

今年の狂言鑑賞会

狂言入間川を観る会 杉山 康子

今年は11月12日(土)午後1時より、狭山市市民会館大ホールにて、大蔵流山本会、山本東次郎・則直他の出演により「柿山伏・月見座頭・くさびら」の狂言鑑賞会を催します。柿山伏は、小学6年生の教科書(国語)に掲げていますので、小学生を優待しようと考えています。柿山伏を演じる山本凜太郎君は、柏原小学校の6年生です。山本会では、子方といって一人前の狂言師として指導しているので、初舞台は面をつけない「いろは」か「しびり」(注)をさせるそうです。地元狭山市に「狂言入間川」があること、そして日本を代表する狂言師が在住していることは、幸運なことだと思います。

(注):「伊呂波」「痺痺」。いずれも子どもと親だけの短い狂言です。

入間川中学校では、「狂言入間川」について調べ、先日(夏休み中)山本則直先生にお話を伺ったそうです。9月に入ったら、私達の会(狂言入間川を観る会)も取材するとのこと。子ども達が郷土の文化活動について理解を深めることは大切なことだと思います。

連絡先 杉山 :2957-1285

文化庁委嘱事業

「伝統文化子ども教室」に文団連加盟団体5団体が参画

～世界にひとつだけの心と命～

狭山市三曲連盟会長 横山 美衣

明治維新と第二次世界大戦の後、二度にわたって自国の文化を横に追いやってきた日本が、昨今、それを省みて取り戻すべく伝統文化に力を入れ始めたことは、大いに歓迎すべきことである。その一環として一昨年より始められたのが、文化庁が所轄する、「伝統文化子ども教室」。狭山市においては今年度、6団体がこの事業に取り組んでいるが、そのうち5団体が文団連加盟団体で、「狭山市三曲連盟」「狭山市華道連盟」「水謡会」「入間川鹿子舞保存会(祭囃子連合会内)」「うるおいきもの文化普及会」である。

三曲連盟の例でいえば、7月から来年3月までの8ヶ月間、およそ20回の講習に、小3～中3まで、箏16名・三絃6名、男女合わせて22名の子供達が参加。ほとんどが全く初めてなのに、10月30日の連盟定期演奏会の折には「世界にひとつだけの花」を合奏する。グループ分けをして、異世代同士で互いに学びあう場面も作っている。

人は、ほんの小さな出逢いがきっかけで人生に希望や夢を持てるようになる、だからたくさんのお出逢いが大切との話を聞いたことがある。22名の子供達が日頃とは違った活動と出逢い、年齢の違う友達と出逢い、先生達と出逢う。また合奏の本番を通して、極度の緊張感と対峙し、力を合わせて頑張れば出来ることを学び、晴れやかな成功体験をする。22名ひとりひとりの「世界にひとつだけの心と命」の中に、小さくても素直な、深い喜びの記憶を残してあげられればと、講師陣は試行錯誤しながらも力をあわせて頑張っている。

平成17年度 賛助会員の紹介(2)

(有)小野田園

新鮮な深い味わい、ソフトな甘さが大好評です

狭山市南入曽 881 :2959 - 3024

(株)エフケイいりそ薬局

安心して相談できる薬局です

狭山市南入曽 564 :2959 - 3063

紅屋

<紅屋 琴三味線店> 和楽器のことはご相談ください

所沢市けやき台 1 - 9 - 4 - 107 :2924 - 9662

洋菓子ニット

洋菓子ニット

狭山市新狭山 2 - 9 - 20 :2953 - 7731